

平成 29 年 10 月 17 日

芦屋市企画部市民参画課
課長 山田 弥生 様

(あしや市民活動センター指定管理者)
特定非営利活動法人あしや NPO センター
事務局長 橋野 浩美

報告書

- 1 事業名：第 29 回あしや秋祭りボランティアコーディネーション
- 2 実施日：平成 29 年 10 月 8 日（日曜）
- 3 担 当：金子 美保
- 4 会 場：精道小学校グラウンド
- 5 主 催：あしや秋祭り協議会
- 6 参加者：24 名
(サニーカフェ 5 名、尼崎信用金庫 5 名、クラーク高校 14 名)
- 7 内容について
 - 1) 目的：来場者がごみの分別を学び、基本はごみを出さない、持ち帰ることを理解し、「気持ちのよいきれいな、ごみのない祭りを楽しむ」ことを目的にボランティアをコーディネートする。
 - 2) 内容：ごみ受付、駐輪場の整理、校内ごみの見回り
ごみ受付では、ごみの分別をボランティアによる誘導および、持ち帰るよう促した。
駐輪場では、自転車の出し入れの補助、声掛けを行った。
見回りでは、校舎の裏やトイレなどにごみがないかを確認した。
- 8 検証：
 - ・ボランティア活動に関しては、午前は年齢が様々だった為、活動内容を確認し体力的なことも配慮し配置した。去年の参加者やさくらまつりの参加者もおり、活動の目的や、内容もスムーズに理解してもらえた。
午後は高校生のみ参加だった。活動内容を説明し、始まりの 1 時間のみ配置した。その後は、自分たちで話し合い、活動場所を決めて動けるように促した。午後は気温が高かったが、自分たちでまわりを気づかい、休憩や交代を行っていて良かった。
 - ・駐輪場に関しては、昨年同様、西側、東側駐輪場に自転車が収まらず多くの人が東側駐輪場外（43 号線側歩道）にとめていたため、警備の方にお任せした。自転車の出し入れはボランティアが声をかけ補助していたのが良かった。

- ・ごみに関しては、昨年同様に少なかった。昨年からのごみ受付設置により、各テントでのごみの回収や参加者の持ち帰りが多く見受けられた。校内の見回りを行ったがきれいだった。
- ・ごみ受付設置も少しずつ芦屋の祭りで定着しつつあるのではないかと嬉しく感じた。

9 今後の対応：

駐輪場の設置場所の見直しは必要かと感じた。ごみ受付でも、当日子ども限定でごみ受付体験や、ごみを集めてくじびきやスタンプ集めて何かあったりなど、ボランティア参加者も来場者も少し楽しみがあっても良いかと思った。

10 ボランティア参加者の感想：

分別の理解と持ち帰りが見られたこと、ボランティアと来場者の交流もあり一体化して活動している感じがあり全体的に良かった。駐輪場は利用者が多く場所を再検討した方がよいと声があった。

以下は、アンケートからである。

- ・子供もきちんと入れてくれ、間違えても声掛けをすると入れ直してくれ、笑顔が可愛かった。
- ・小さな子の分別の教育にもつながるので良いと思いました。
- ・みんなと協力して動いて、行動することが最高に楽しかった。
- ・同じ様なボランティアに参加した。今回もごみ受付や、見回りをして良い仕事が出来ました。
- ・去年は、プレゼントがあったのに…という顔が多くみられた。
- ・子供たちはお土産やスタンプがあるのを楽しみにしているようだった。
- ・ごみ袋を持って自分からもらいに行っても良いかと思った。
- ・ごみの持ち帰りや、きちんと捨ててくれる人が多くて良いと思った。
- ・祭り来場者がきれいに保とうと言う気持ちが伝わった。
- ・駐輪場の整理が大変だった。スペースを考えると通路を確保出来るのではないかと思った。
- ・ごみが他に捨ててなく、とてもキレイなまま、学校にお返しできるので嬉しく思います。
- ・休憩スペースが狭いかと思った。
- ・祭りのボランティアの方がどのような仕事をしているか知ることができた。

以上

